

学生課 だより

●学生課(多摩6号館地下1階/042-674-3471)

ー「ブラックバイト」に注意！ー

長期休業中や、新学期に入ると、アルバイトを始める学生が多くなります。社会で働くことを学ぶためにも、アルバイトは良い経験になります。しかし近年、違法な長時間労働をさせたり、厳しいノルマを課したり、大学の授業や試験期間であっても休ませてくれないなど、学生生活に支障をきたす「ブラックバイト」が問題視されています。

アルバイト選びには十分に注意をし、契約条件と違った業務を課せられたり、辞めたくても辞めさせてもらえないなどのトラブルがありましたら学生課・理工学部学生生活課・学生相談室に相談してください。

ー課外教育・教養プログラム開催情報ー

4月に開催予定の学生部主催セミナーをご紹介します。詳細は、学生部掲示板、公式webページ、C plusでお知らせします。ぜひ、ご参加ください！！

<護身術を体験しよう！ー防犯講習会ー>

学生部では、犯罪に対する学生の危機管理意識を喚起し、危険から身を守る方法を学び、護身の重要性について認識してもらうために、「防犯講習会(護身術講座)」を開催します。この講習会では、危険に遭わないための知識を身につけ、その上で実際に被害に遭いそうになった際の対処法について護身術を通じて学びます。護身術では、“相手と戦う”ためではなく、“うまく交わって逃げる”簡単な方法を、身体を使って楽しく学びます。

日時:2016年4月27日(水)13時20分～14時50分

会場:多摩キャンパス Cスクエア2階中ホール

講師:うさぎママのパトロール教室 武田信彦 氏

参加費:無料

申込受付:4月5日(火)～学生課(多摩:6号館地下1階042-674-3471)

理工学部学生生活課(後楽園:1号館1階03-3817-1717)窓口で受付をします。

※当日は、動きやすい服装でお越しください。



<今年も実施します！ー高尾山ハイキングツアーー>

昨年度好評だった高尾山ハイキングツアーを4月24日(日)に実施します。普段なかなか交流の機会が少ない他学部や学年の違うもの同士で、多摩の美しい自然を感じることができます。当日は、八王子市観光協会の高尾山ガイドの方もお招きし、ポイント毎に説明をしながら登山をするので、たくさんの発見や違った楽しみ方をすることができます。

日時:2016年4月24日(日)9時～ ※雨天中止

集合:現地集合(ケーブルカー清滝駅前 予定)

定員:20名

参加費:無料

申込受付:4月11日(月)～学生課(多摩:6号館地下1階042-674-3471)

理工学部学生生活課(後楽園:1号館1階03-3817-1717)窓口で受付をします。

※写真は昨年の様子



—2016年度 学生手帳を配付します—

学年暦が掲載されているため大学生生活のスケジュールを立てやすく、大変便利な「学生手帳」を配付します。また、災害時に役立つ情報や緊急時の大学への連絡方法等が書かれた「ポケット防災ガイド」も併せて配付します。防災ガイドは、災害発生時などに非常に重要ですので、常に携帯し、日頃から災害に備えるようしていただきたいと思います。

3月下旬から学生課で配付していますので、学生証を持参してください。

**2016年度の手帳は紺とオレンジの2色！
中身もより使いやすいようにリニューアルしました！**

ボランティアセンターより

—大学生ボランティア活動報告&防災イベントを実施しました—

東日本大震災3月11日の1か月前、イオンモール多摩平の森(JR豊田駅北口)にて、多摩地区6大学(中央、明星、法政、首都大学東京、実践女子、東京薬科)合同で、被災地支援と地域防災のイベントを行いました。実施にあたり、日野市ボランティアセンター、日野市地域協働課、イオンモールから多大な協力をいただきましたこと、ここに御礼を申し上げます。地域と学生が直接触れ合うことで、学生が地域のニーズに気付き考えが深まることや、地域が等身大の学生を知り、地域での学生のボランティア活動が円滑に進むことにも繋がったのではないかと思います。

実施期間 2016年2月4日(木)~11日(木・祝)8日間

会場 イオンモール多摩平の森(JR豊田駅北口)

内容

▼パネル展示 期間中開催

各大学の被災地支援の活動を写真や文字で紹介。学生が会場で解説を行う。

▼イベント 2月6日(土)10時~17時

- ①学生の活動報告
- ②避難所運営ゲームの実施
- ③防災ワークショップカエルキャラバンの実施
- ④東北物産展の実施(中央大学・明星大学)
- ⑤着ぐるみや大道芸による呼び込み

来場者数

パネル展 3,223人、イベント 300人【合計 3,523人】

参加大学生数 66人

中央大学 31人、明星大学 20人、実践女子大学 6人、法政大学 4人、首都大学東京 4人、東京薬科大学 1人
来場者の感想

・東日本大震災から年月が経つがそれを風化させないよう、今まで活動されている学生さんに感謝します。活動は被災者の方に力を与え、被災していない私たちには忘れてはならない事など勉強になりました。

・避難所運営ゲームに参加したことで避難所の様子についてイメージが持てました。多くの事情を抱える人が一同に集まる空間の運営の難しさを知ることができました。若い世代にこうした防災の知識とスキルを伝えていくことの重要性を知りました。

